

川崎市での新型インフルエンザ対策の具体的取り組みについて

- ① ハイリスク者（妊婦、腎透析、小児、内科疾患）ごとに、医師会、病院協会（市立病院、民間病院）、行政間の合同会議を持ち、役割分担を確認した。
- ② 市長、医師会長、病院協会長、歯科医師会長、薬剤師会長、看護協会長の、市及び医療5団体合同会議を持ち、覚書を交わし、記者会見を行った。
- ③ 一般市民向けパンフレット「重症患者を救うのは、あなたの思いやりある行動です！」（A4版見開き4頁）を16万部作成し、軽症者の平日日中の、かかりつけ医への受診を啓発した。

（川崎市健康福祉局保健医療部長 雨宮 文明先生 ご提供）

【参考】

新型インフル対策強化 神奈川県川崎市と医療関係5団体協力覚書
（2009年10月3日 東京新聞から）

川崎市と市医師会など医療関係五団体は二日、新型インフルエンザ対策に協力して取り組む覚書を締結した。診療所での診療体制を強化するとともに、市民に対して緊急アピールを発表。総合病院ではなく最寄りの診療所で受診するよう呼び掛けた。

総合病院などに患者が集中して緊急医療体制に支障が起こる事態を防ぐため、覚書に基づき、市では医師会を通じて診療所の診療時間延長を求め、市内の休日急患診療所は医師を余分に確保する。感染拡大防止のため、薬などの処方を書き出す体制もつくる。アピール内容や診療所紹介窓口などを記載したパンフレットを十六万部作り、来週後半から学校や医療機関を中心に市民に配る。

市医師会の高橋章会長は「診療所を中心とする、かかりつけ医がいかに防波堤になれるか。感染拡大の長期化や耐性ウイルス出現も予想され、対策を総合的にコントロールする組織も必要かもしれない」と語った。

市内では八月後半からインフルエンザ感染者が急増し、九月第三週には、一週間の推計患者数が五千人を超えた。学校などの臨時休業も相次ぎ、八月末からの一カ月間で、保育園や小中高校延べ百十一施設が休校などの措置をとった。

重症患者を救うのは、 あなたの思いやりある行動です！

～救急医療体制の維持のために～

川崎市内の新型インフルエンザ(A/H1N1型)の患者が、増えています。

今秋以降、新型インフルエンザ患者数が激増することは確実で、そのときに総合病院に発熱患者の受診が集中すると、救急医療体制の維持ができなくなることが心配されています。

特に、夜間や休日の医師や看護師の人数が少ない時間帯に受診者が押し寄せると、診察までに長時間待つこととなり、交通外傷や心筋梗塞、脳卒中など重症の患者の救命医療が出来なくなる危険性もあります。

**混乱をできるだけ防ぐために、
症状が軽い場合は夜間・休日救急に行くことは控えて、
医師や看護師の体制が整っている日中の間に、
「かかりつけ医」や最寄りの診療所の受診をお願いします。**

夜間・休日の総合病院に集中すると…



- 緊急の救命医療が出来なくなります。
- 待ち時間が長くなります。

日中にかかりつけ医や診療所で受診すると…



- 混乱が避けられます。
- 医師や看護師の体制が整っています。



ただし、小さなお子さんで、けいれんやいつもと違う言動など、脳症を疑う症状が見られる場合や成人を含めて、息苦しいなどの肺炎が疑われる症状等が見られる場合は、すぐに受診しましょう。



新型インフルエンザ

かからないために・うつさないために

～正しい衛生習慣を身につけましょう!!～

咳エチケット



- 咳やくしゃみのしぶき(飛沫)は約2メートル飛ぶといわれています。
- 咳やくしゃみの症状がある人は、マスクを着け、咳やくしゃみの飛沫が飛び散るのを防ぎましょう。
- マスクをしていない場合は、他の人から顔をそらせ、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。
 - 使ったティッシュはすぐに蓋つきのごみ箱に捨てましょう。
 - 咳やくしゃみを手で覆ったら、手を石鹸で丁寧に洗いましょう。

マスクのつけ方・はずし方

つけ方

- ①マスクの上下を確認し、継ぎ目の下端部を親指ですらすらように開く。(※立体型の場合)
- ②マスクを左右に開く。(口の触れる部分を触らない様に)
- ③鼻、口、あごを覆う。
- ④鼻部分を鼻すじにフィットさせる。
- ⑤ゴムひもで耳にしっかり固定する。
- ⑥フィットするよう調節する。

あごまですっぽりと包み込みましょう。



ふしよくふ

不織布製マスクの使用をおすすめします。

はずし方

- ①マスクの表面に触らないように、片耳のゴムひもを持ち、顔から外す。
- ②反対側のゴムひもを持ち、顔から外す。
※ゴムひもの部分だけを持ち、マスクの表面には触れない!!
- ③ゴムひもの部分だけを持ち、蓋のついたごみ箱に捨てる。
- ④マスクを捨てた後は、手を石鹸で丁寧に洗う。
(アルコール消毒剤による手指消毒も有効)

ゴムひもだけを
持つようにしましょう!

※使い捨てが原則



正しい手洗い方法



手のひらを合わせてよく洗う



手の甲を伸ばすように洗う



指先・爪の間をよく洗う



指の間を十分に洗う



親指と手掌をねじり洗いする



手首を洗う



手首が肘で止める

水道の栓を止める時は...



ペーパータオルを使用して止める

- ウイルスはどこについているかわかりません。外出したら、必ず手洗いがいをしましょう。
- 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。



15秒以上
洗おう!

小学生以下でのインフルエンザ患者が急増！

～新型インフルエンザに関する市民の皆様へのアピール～

概要

本市における感染症発生動向調査結果では、インフルエンザの患者が10月の第41週から第43週の3週間において、流行発生警報基準値（定点あたり30人）に近い患者発生数で推移しています。

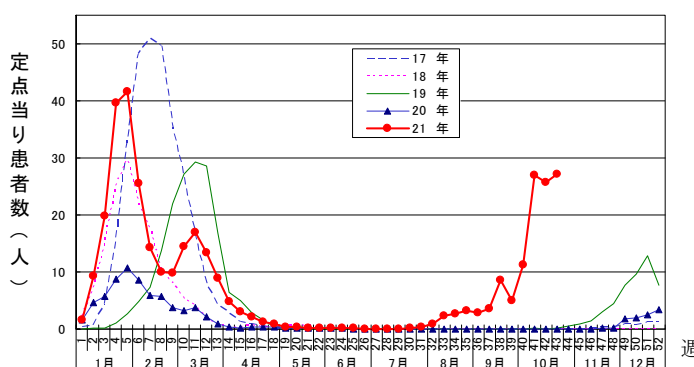
特に、この3週間の年齢別患者発生状況では、患者報告総数4,318人のうち9歳以下の患者が1,973人であり、全体の46%を占めています。

このようなことから、本日、市長名で市民の皆さんに、別紙のアピール文のとおり呼びかけを行い、引き続き新型インフルエンザ対策について、御理解と御協力をお願いするものです。

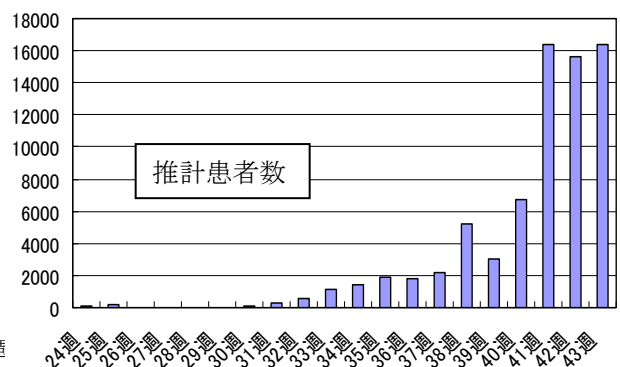
1 本市におけるインフルエンザ流行状況

- 第40週（9月28日～10月4日）に患者報告数は、流行発生注意報基準値（定点当たり10人）を超え、定点当たり11.17人となり、流行発生注意報を発令しました。
- 第41週（10月5日～10月11日）は、さらに急増し、定点当たり27.04人、第42週（10月12日～10月18日）の報告数は25.78人、第43週（10月19日～10月25日）の報告数は27.15人となり、3週続けて流行発生警報基準値に近い数値で推移しています。また、第43週では、高津区（定点当たり39.50人）、宮前区（定点当たり36.25人）、及び多摩区（定点当たり36.63人）において警報基準値を超えており、市内の推計患者総数は約16,400人と思われま。
- 特に、患者数が急増した第41～43週の年齢別の患者発生状況は、患者総数4,318人のうち9歳以下の患者が1,973人と全体の約46%を占め、その前の第38～40週の同年齢の割合約24%（患者数1,337人、9歳以下316人）の約2倍となっています。

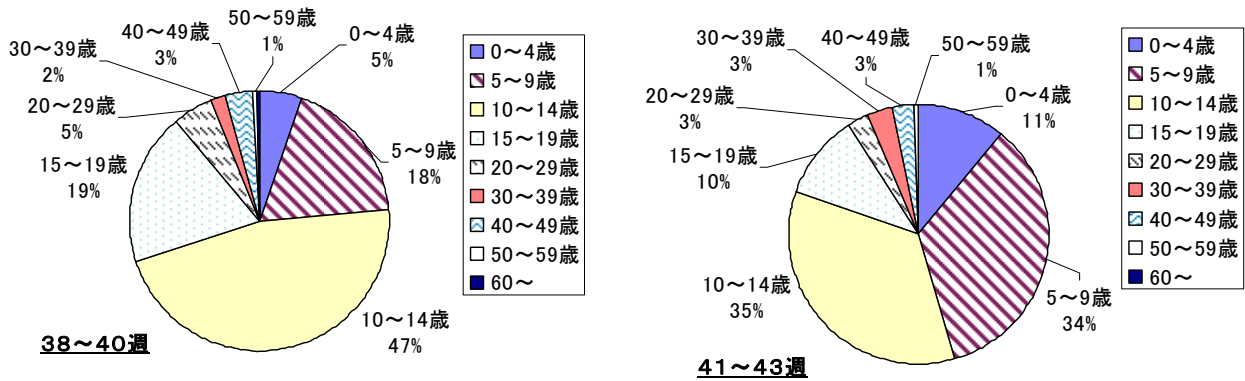
インフルエンザ患者報告数
(平成17年～平成21年第43週まで)



インフルエンザ推計患者数
(平成21年第24～第43週まで)



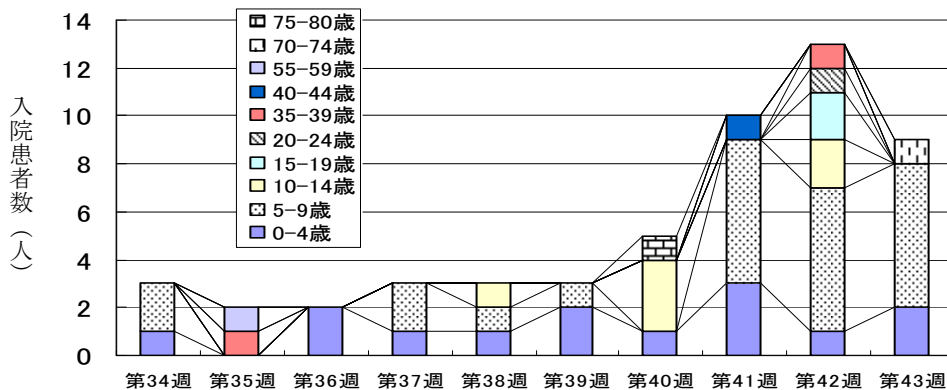
インフルエンザ年齢別患者数（第 38～40 週と第 41～43 週の 3 週間の患者総数による比較）



2 新型インフルエンザ入院患者の状況

- 10月26日現在で、市内医療機関から53名の入院報告があり、男性32名、女性21名となっています。
- 特に、入院患者が増加した第41～43週においては、9歳以下の入院患者が75%を占め、患者数の増加による罹患年齢数の低下に伴い、低年齢の患者の重症化が懸念される状況です。

入院患者発生状況

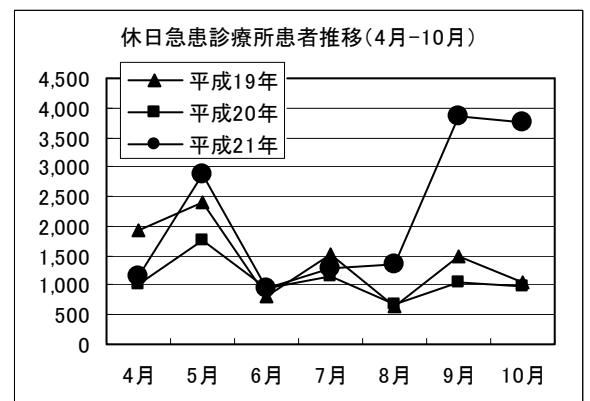


3 休日急患診療所における受診患者の状況

新型インフルエンザの流行拡大に伴い、市内の7箇所の休日急患診療所において、8月から受診患者数が増加しはじめ、9月及び10月においては、例年と比較して大幅な増加となっています。

休日急患診療所受診患者数

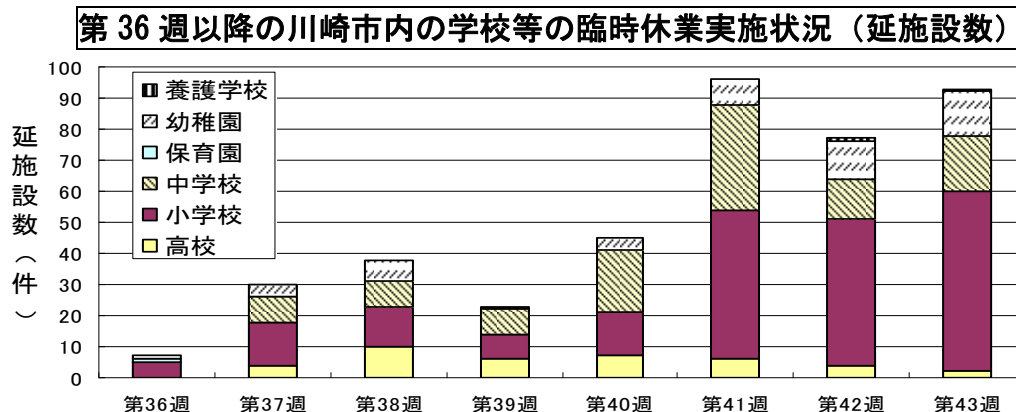
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成19年	1,933	2,405	823	1,529	647	1,484	1,037
平成20年	1,014	1,758	937	1,144	665	1,055	975
平成21年	1,155	2,890	947	1,287	1,365	3,850	3,762



※ 市内7箇所の診療所の合計受診者数です。

4 学校等の臨時休業等の状況

学校等の臨時休業の増加が続き、特に第41週以降は、休業措置実施施設数が急増しています。



5 新型インフルエンザワクチン接種の対応

市内で新型インフルエンザワクチン接種を実施する受託医療機関がまとまりつつありますので、近日中に、受託医療機関名簿を本市ホームページに掲載するとともに、「市政だより特別号」を11月中旬に発行し、優先接種対象者の方に受託医療機関名簿、接種スケジュール等の御案内をしております。また、市内新型インフルエンザ相談センターにおいても、相談を受けております。

○市内新型インフルエンザ相談センター連絡先（専用電話）

川崎区役所保健福祉センター	0 4 4 (2 0 1) 3 1 8 9	相談受付時間 平日 8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0
幸区役所保健福祉センター	0 4 4 (5 5 6) 6 7 1 5	
中原区役所保健福祉センター	0 4 4 (7 4 4) 3 1 0 4	
高津区役所保健福祉センター	0 4 4 (8 6 1) 3 3 4 1	
宮前区役所保健福祉センター	0 4 4 (8 5 6) 3 2 1 7	
多摩区役所保健福祉センター	0 4 4 (9 3 5) 3 2 1 7	
麻生区役所保健福祉センター	0 4 4 (9 6 5) 5 2 1 8	
健康福祉局健康安全室	0 4 4 (2 0 0) 2 6 9 2 FAX 0 4 4 (2 0 0) 3 9 2 8	

《問合せ先》

川崎市健康福祉局健康安全室
 新型インフルエンザ・防疫対策担当
 電話 2 0 0 - 2 4 3 2

市民の皆様へ
～新型インフルエンザ患者の急増に対するアピール～

平成21年10月28日

川崎市新型インフルエンザ対策本部長
川崎市長 阿部孝夫

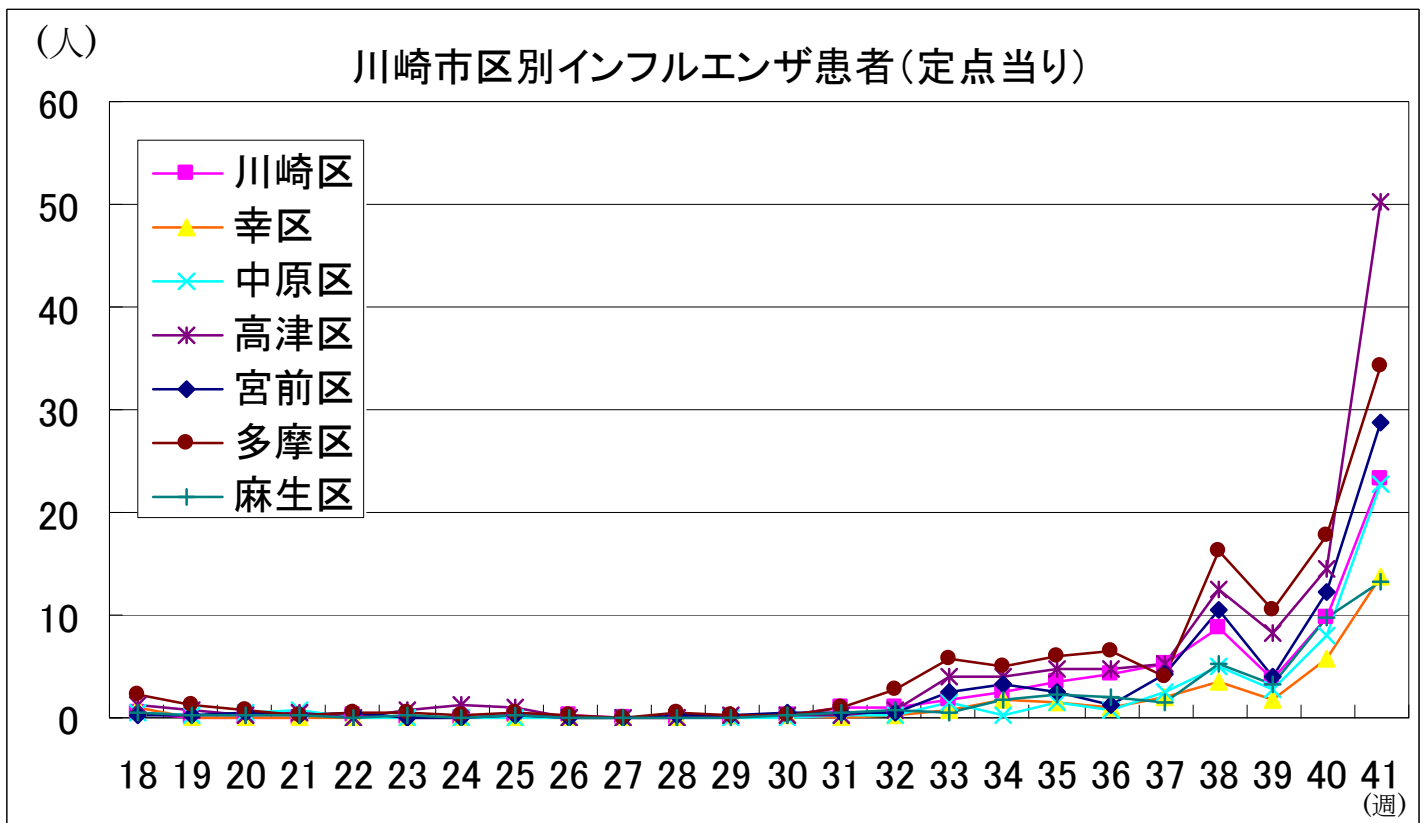
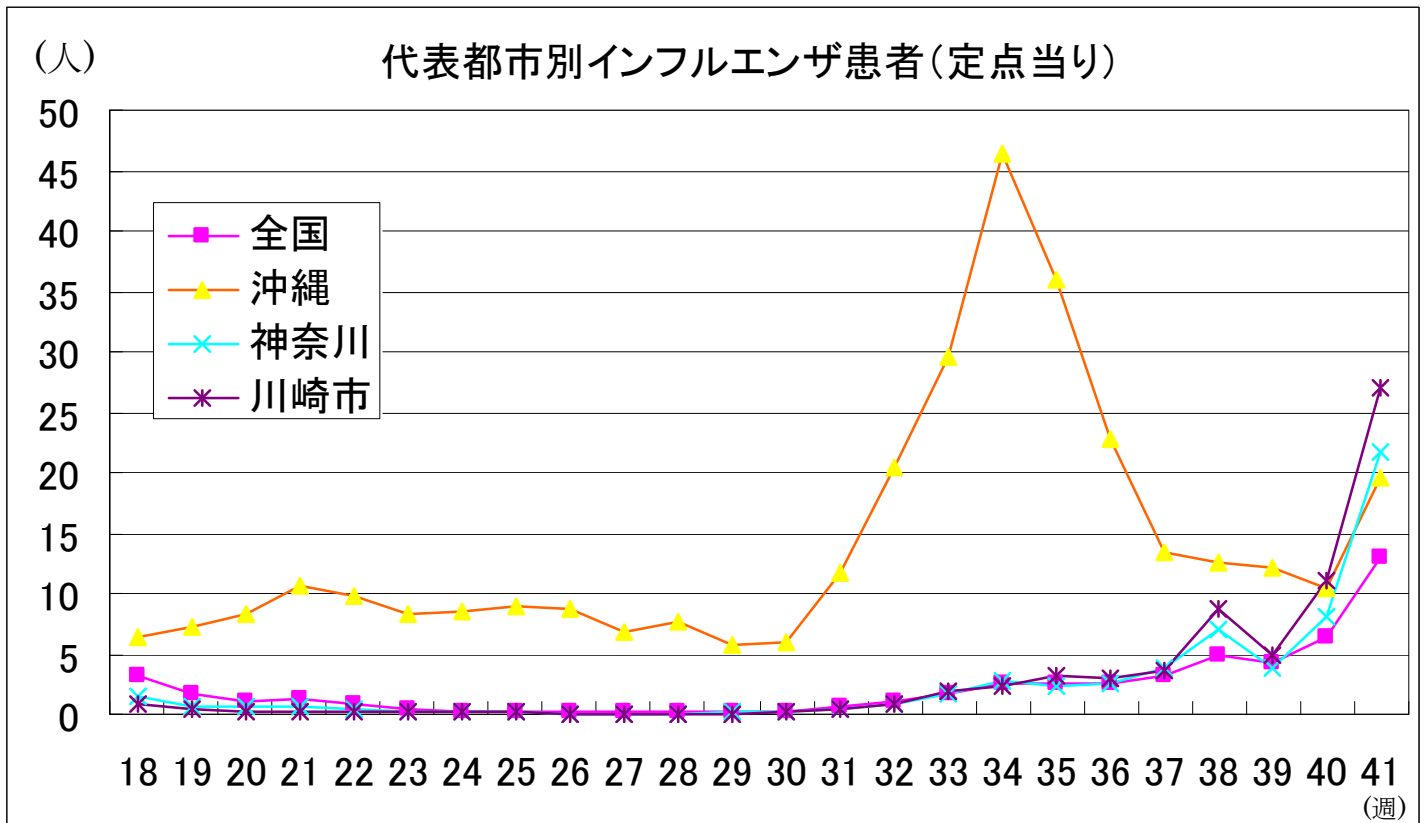
川崎市においては、9月下旬から新型インフルエンザの患者が増加し始め、10月に入ってから流行発生警報値である定点当たり30人に近い数値で推移しています。各週の推計患者数は、市内で1万人を超えているものと思われ、特に9歳以下の患者が急増しています。

市内での感染が急激に拡大すると、医療機関の負担が大きくなり、重症患者への対応に支障がでるおそれがありますので、市民の皆様におかれましては、次のことに御理解と御協力をお願いいたします。

- 外出から帰ったら、必ず、手洗い、うがいをしましょう。
- 人に、せきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を、心掛けましょう。

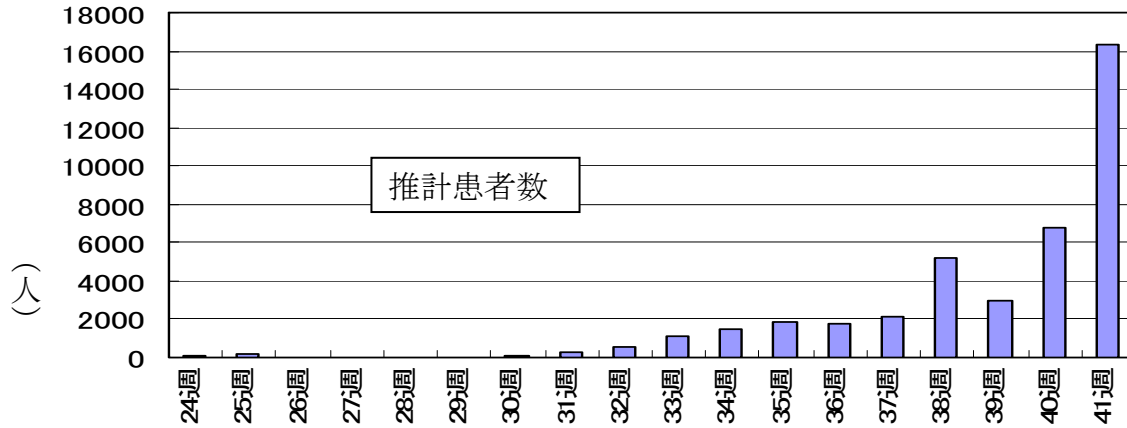
- 1 息苦しい、呼吸が速い、などの症状がある場合や、けいれんやいつもと違う言動が見られた場合には、速やかに医療機関を受診してください。
- 2 受診するときは、医療機関内で周囲の患者さんへの感染を防ぐため、あらかじめ医療機関に電話をし、マスクをして受診してください。
- 3 妊娠されている方、ぜん息や糖尿病などの持病をお持ちの方は、発熱したときの対応などについて、あらかじめかかりつけの医師とよく御相談ください。
- 4 基礎疾患（持病）がなく軽症の方は、医療機関が手薄になる休日・夜間の救急外来受診はできるだけ控えるようにしてください。
- 5 症状がないときに検査を行う必要はありませんので、感染していないことを証明する目的での受診は控えてください。

引き続き、新型インフルエンザに「かからない、うつさない」ための生活習慣とマナーを守っていただきますよう、よろしくをお願いいたします。



川崎市健康福祉局健康安全室
 電話 044-200-2412
 平成 21 年 10 月 15 日作成

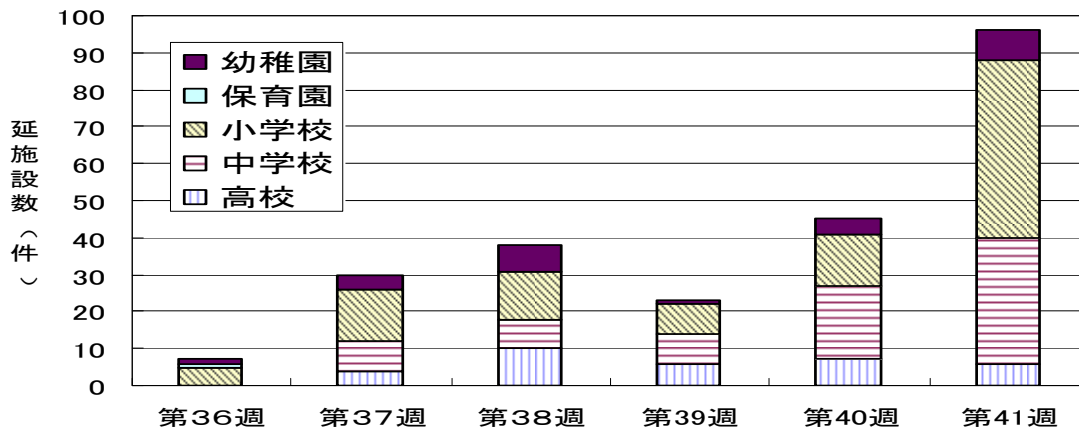
平成21年川崎市におけるインフルエンザ推計患者数



2 学校等の臨時休業等の状況

学校等の臨時休業の増加が続き、第41週の報告数は最も多い延96施設となっています。特に、小学校の休業実施報告数が急増しています。

第36週以降の川崎市内の学校等の臨時休業実施状況（延施設数）



3 今後の対応

(1) インフルエンザ対策の積極的な広報

10月2日に市民の皆様への緊急アピールを行いました。今後も市内における医療体制の確保及び感染拡大防止のために積極的にリーフレット等を配布し、広報に努めてまいります。

(2) 円滑な新型インフルエンザワクチン接種の実施

関係機関と調整を行い、早急にワクチン体制の確立を図るとともに、ホームページ等の広報手段を活用し、接種対象者に対し速やかに接種体制や接種スケジュール等について周知を行います。

《問合せ先》

川崎市健康福祉局健康安全室
 新型インフルエンザ・防疫対策担当
 電話 200-2432

「新型インフルエンザ対策の相互協力に関する覚書」の締結等について

1 「新型インフルエンザ対策の相互協力に関する覚書」の締結について

川崎市、社団法人川崎市医師会、社団法人川崎市病院協会、社団法人川崎市歯科医師会、社団法人川崎市薬剤師会及び社団法人川崎市看護協会は、市内における新型インフルエンザの急速な患者の増加に対応し、市民に適切な医療を提供するため、本日、「新型インフルエンザ対策の相互協力に関する覚書」を締結しました。

2 市民の皆様への緊急アピールについて

川崎市、社団法人川崎市医師会、社団法人川崎市病院協会、社団法人川崎市歯科医師会、社団法人川崎市薬剤師会及び社団法人川崎市看護協会は、市内における新型インフルエンザの急速な患者の増加に伴い、総合病院等に発熱患者の受診が集中すると、救急医療体制の維持ができなくなることが懸念されることから、市民に対して、混乱をできる限り防ぐために、症状が軽い場合は夜間・休日救急に行くことは控えて、医師や看護師の体制が揃っている日中の間に、「かかりつけ医」や最寄りのクリニックの受診することを、緊急アピールとして呼びかけるものです。

配布資料

- 資料1 「新型インフルエンザ対策の相互協力に関する覚書」
- 資料2 市民の皆様への緊急アピール
- 資料3 川崎市内におけるインフルエンザ流行状況
- 参考 リーフレット

〈問合せ先〉

健康福祉局健康安全室
新型インフルエンザ・防疫対策担当
電話200-2432

新型インフルエンザ対策の相互協力に関する覚書

川崎市、社団法人川崎市医師会、社団法人川崎市病院協会、社団法人川崎市歯科医師会、社団法人川崎市薬剤師会及び社団法人川崎市看護協会は、市内における新型インフルエンザの急速な患者の増加に対応し、適切な医療を提供するため、各団体において、次の事項を積極的に推進していくことを確認するものとする。

- 1 軽症患者については、「かかりつけ医」での診療、重症患者については、二次救急医療、三次救急医療を担う病院で受入れを行い、重症化した妊婦、小児、透析患者等に対して適切な医療を提供する体制を整備すること
- 2 今後の患者の急増に備え、診療所における診察時間の延長等の体制を整備すること
- 3 休日急患診療所における医師、薬剤師及び看護師等の増員を行うなどの診療の体制を整備すること
- 4 感染拡大を防止するため、患者への抗インフルエンザウイルス薬等の処方をファクシミリで行う体制を整備すること
- 5 医療機関の紹介については、発熱相談センター及び川崎市救急医療情報センター等を活用するなど、適切な対応を行うこと
- 6 市民に対して、インフルエンザの症状が出た際における適切な医療機関への受診を呼びかけ、医療現場での混乱を防止し、救急医療等の体制の維持を図ること

平成21年10月2日

川 崎 市 長

社団法人川崎市医師会 会長

社団法人川崎市病院協会 会長

社団法人川崎市歯科医師会 会長

社団法人川崎市薬剤師会 会長

社団法人川崎市看護協会 会長

市民の皆様への緊急アピール

今秋以降、新型インフルエンザの急速な患者の増加が懸念され、そのときに病院に発熱患者の受診が集中すると、救急医療体制の維持ができなくなることが心配されています。

特に、夜間や休日の医師や看護師の人数が少ない時間帯に集中すると、交通事故や重症の患者の救命医療が出来なくなります。

混乱をできる限り防ぐために、症状が軽い場合は夜間・休日救急に行くことは控えて、医師や看護師の体制が揃っている日中の間に、「かかりつけ医」や最寄りの診療所の受診をお願いします。

ただし、小さなお子さんにけいれんやいつもと違う言動などの脳症を疑う症状が見られる場合や、息苦しいなどの肺炎が疑われる症状等が見られる場合はすぐに受診しましょう。

また、感染拡大防止のため、引き続き、咳エチケットやこまめな手洗いなど、感染予防に努めていただきますようお願いいたします。

平成21年10月2日

川 崎 市
社団法人川崎市医師会
社団法人川崎市病院協会
社団法人川崎市歯科医師会
社団法人川崎市薬剤師会
社団法人川崎市看護協会